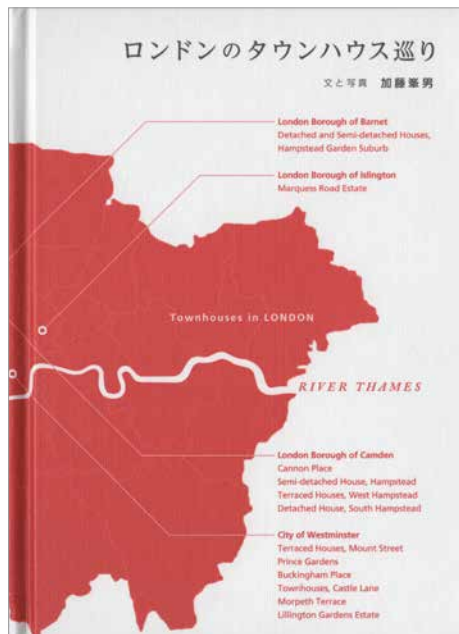




書名 | 『ロンドンのタウンハウス巡り』
定価 | 2,700 円＋税
総頁 | 104 頁
判型 | A5 判
言語 | 日本語
発行日 | 2015 年 7 月
発行所 | 建築メディア研究所
ISBN978-4-907045-16-6

目次

マルケス・ロードの猫
アイヴァーナ・コート
アイヴァーナ・ガーデンズ
スカーズデイル・ヴィラズ
ロンドンの大火
集合住宅「エステート」開発手法
ハウス & フラッツ
なぜテラスド・ハウスというのか？
セミ・ディタッチド・ハウス
郊外住宅の王様 セミ・ディタッチド・ハウス
カドガン・ホテル
憧れのジョージアン & ヴィクトリアン
タウンハウスの建築様式

● 新刊のご案内

ロンドンのタウンハウス巡り

文と写真 加藤峯男

エンドウ・アソシエイツの創設者、圓堂政嘉らによる「広尾ガーデンヒルズ」(1984 年～ 86 年)は、都心部にあって緑豊かで落ち着いた住環境が人気のヴィンテージマンションですが、設計にあたって圓堂が参照したのがロンドンのタウンハウスでした。エンドウ・アソシエイツ現代表の筆者は、圓堂が残した古い写真アルバムの発見をきっかけに、ロンドンのタウンハウス巡りを思い立ちます。

本書は、1666 年のロンドン大火の後に生まれた、ジョージアン、ヴィクトリアンのタウンハウスを中心に、そのデザインと開発手法の成り立ちをふんだんな写真と共に解説したものです。ハウスとフラッツ。さらには、ハウスでも、テラスド・ハウス、セミ・ディタッチド・ハウス、ディタッチド・ハウスといった住宅形式。赤煉瓦のヴィクトリアンと、黄煉瓦とスタッコのジョージアンといった建築様式について、集合住宅を数多く手掛けた建築家の視点で、その背景を掘り下げていきます。同時に著者は、ロンドンの美しい街並と、統一感に欠けた東京の都市景観を対照させ、魅力的なまちづくりの可能性を探ります。

ロンドンのタウンハウスを巡るガイドブックであると共に、さまざまなまちづくりのヒントが盛り込まれた一冊です。

かとう・みねお／昭和 21 年愛知県豊田市生まれ／昭和 44 年名古屋大学工学部建築学科卒業、圓堂建築設計事務所入所／平成 3 年同所パートナー／平成 14 年株式会社エンドウ・アソシエイツ取締役／平成 15 年株式会社エンドウ・アソシエイツ代表取締役／平成 22 年一般社団法人東京都建築士事務所協会理事



『ロンドンのタウンハウス巡り』ご注文

定価 | 2,700 円＋税

本書のご注文は、書店および弊社への FAX、電話、メール、インターネットにて承っております。冊数、お名前をご記入の上、お近くの書店または弊社までお申し込み下さい。

株式会社建築メディア研究所

●お名前

●お電話番号

●ご住所

書店名

*書店さまへ。本書籍は取次店で扱っておりません。直接弊社へお申し込み下さい。

発行所：建築メディア研究所

〒162-0802 東京都新宿区改代町42 金森ビル302
tel. 03-6868-6404 fax. 03-6730-2937
APG@archimedia-system.com
<http://archimedia-system.com>